大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F128310108883	設置等組織名	武庫川女子大学　環境共生学部（環境共生学科）
大学名	武庫川女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	兵庫	事業計画名	武庫川女子大学　学部の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-①令和５年９月～10月　移転調査・計画 1-②令和５年９月～11月　既存施設改修・新築基本設計（事前調査・開発協議・基本設計） 1-③令和５年９月　進学推奨意向確認のため高校生保護者向けにインターネットを利用したアンケート調査 1-④令和５年９月　新学部構想の評価と進学推奨意向確認のため高等学校等関係者を対象にしたヒアリング 調査 1-⑤令和５年10月　上記調査の分析・検討 1-⑥令和５年10月　届出設置の可否について運営委員会に事前相談 1-⑦令和５年11月　同系統学部の施設等運営状況や、連携校・連携企業開拓のため他大学・企業を訪問調査 1-⑧令和５年12月　学生確保の見通しを明らかにするため近隣高校、大学附属高校及び連携高校の高校２年生向けの進学意向アンケート調査 2新-①令和５年９月～11月　既存施設改修・新棟新築実施設計（開発・設計・積算外） 2新-②令和５年12月～令和６年５月　研究管理棟、実習棟、図書館棟改修（既存棟整備） 2新-③令和5年11月～令和6年3月 講義棟改修（既存棟建築・設備改修） 2新-④令和6年1月～3月　既存棟移転（教育管理・実習・図書・講義棟）	1-①令和5年９月～10月　移転調査・計画 1-②令和5年９月～11月　既存施設改修・新築基本設計（事前調査・開発協議・基本設計） 1-③令和５年９月　進学推奨意向確認のため高校生保護者向けにインターネットを利用したアンケート調査 1-④令和５年９月　新学部構想の評価と進学推奨意向確認のため高等学校等関係者を対象にしたヒアリング 調査 1-⑤令和５年10月　上記調査の分析・検討 1-⑥令和５年10月　届出設置の可否について運営委員会に事前相談 1-⑦令和５年11月　同系統学部の施設等運営状況や、連携校・連携企業開拓のため他大学・企業を訪問調査 1-⑧令和５年12月　学生確保の見通しを明らかにするため近隣高校、大学附属高校及び連携高校の高校２年生向けの進学意向アンケート調査 1-⑨令和６年１月　新学部の設置構想についてPR活動開始 2新-①令和5年７月～令和6年5月　既存施設改修・新棟新築実施設計（開発・設計・積算外） 2新-②令和６年１月～３月　研究管理棟（既存棟整備） ※実習棟、図書館棟改修（既存棟整備）はR6年度事業へ繰り越し 2新-③令和６年１月～令和6年3月 講義棟改修（既存棟建築・設備改修） 2新-④令和6年３月～　既存棟移転（教育管理・実習・図書・講義棟） ※一部の移転事業はR6年度事業へ繰り越し、令和6年７月完了予定	令和5年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	設置計画立案のためのアドバイザーによる助言、検討体制は令和７年４月の新学部開設の直前まで、継続して実施する予定 2-⑤令和6年7月～令和7年1月　既存改修・新棟新築工事監理（既存棟・新棟） 2-⑥令和6年7月～9月　教育研究棟改修（新学部対応既存改修） 2-⑦令和6年7月～令和7年1月　プロジェクト棟新築（新棟） 『一部については、フェーズ2後倒しの取組として実施』（R7.3.31承認） 2-⑧令和7年1月～3月　教育研究棟移転 2-⑨令和7年2月～3月　什器備品搬入、移転 『一部については、フェーズ2後倒しの取組として実施』（R7.3.31承認）	2-⑤令和6年7月～令和7年1月　既存改修・新棟新築工事監理（既存棟・新棟） 2-⑥令和6年7月～9月　教育研究棟改修（新学部対応既存改修） 2-⑦令和6年10月～令和7年3月　プロジェクト棟新築（新棟） 2-⑧令和7年1月～3月　教育研究棟移転 2-⑨令和7年2月～3月　什器備品搬入、移転 【改組内容】 令和7年２月～3月　令和８年度より、入学定員を120人から80人へ変更することとの検討開始	令和6年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。 プロジェクト棟（新築）について、工期延長が必要となったため、計画変更承認申請を行い、R7.3.31付で承認を得た。
令和7年度	3-①令和７年８月～令和８年3月　新学部実験装置　段階的整備	2-⑦令和7年4月～令和7年8月 プロジェクト棟新築（新棟） 『一部については、フェーズ2後倒しの取組として実施』（R7.3.31承認） 2-⑨令和7年4月～8月　什器備品搬入、移転 『一部については、フェーズ2後倒しの取組として実施』（R7.3.31承認） 3-①令和７年８月～令和８年3月　新学部実験装置　段階的整備	令和7年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和8年度			令和8年度自己評価　リストから選択してください。
令和9年度			令和9年度自己評価　リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価　リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価　リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価　リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価　リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価　リストから選択してください。
認可申請 又は届出	・令和６年３月　大学収容定員関係学則変更認可申請 ・令和６年４月　新学部設置届出	・令和6年3月　収容定員の総数の増加　認可申請 ・令和６年４月　新学部設置届出	
定員減又は 学部等の廃止	特になし	令和７年５月　環境共生学部環境共生学科　40人減員に係る届出（入学定員80人、工学関係） 令和８年４月　環境共生学部環境共生学科 40人減員（入学定員80人、工学関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	武庫川女子大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化，体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
東レエンジニアリング株式会社や日本盛株式会社、株式会社グッドホールディングス等の企業より 技術者数名を講師として招聘し、実践型の科目を開講する予定。また、地元自治体や企業と連携し、 ①自然環境の持続的な利活用技術提案のための保全、管理システムの構築やデザイン ②環境資源の応用、資源循環の開発 ③生物多様性の維持、継承のための計画、設計、技術の理解と実践 を メインテーマにしたPBL型の授業科目を複数開講する。 他大学との連携については、工学部や理学部を設置している奈良女子大学と連携した科目を 開講する計画である。	令和７年度の活動としては、プロジェクト活動を踏まえPBL型の授業科目として、 「社会連携プロジェクトⅠ」（1年後期必修科目）を開講。 奈良女子大学との共同FDを実施（2025年11月26日）　※強化会議発表済	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、理系分野を目指す女子中高生を対象とした「ひょうご理系女子未来塾」（女子中高生の理系進路選択支援プログラム選定事業）を実施し、近隣の中学校・高等学校での出前授業等を通じ、女子生徒が科学への興味・関心を高め、理系のキャリアを描けるよう支援している。今後もその活動を継続するし、女子中高生の理系分野選択を支援する。 また、現在、近畿圏をはじめとする7校の中学校・高等学校との教育研究連携に関する協定を締結しているが、フェーズ１期間中に連携先を10校に拡大予定。 出前授業の実施や生徒、学生及び教員の人材交流、教員間の相互FD、教育プログラムの共同開発、本学への進学について支援・連携する。 フェーズ３の新学部開設後はさらに連携を強化し、生徒の実験・実習授業への参加などを推進し、女子生徒の探究心を養う。学生のプロジェクトにおいても近隣の中学校・高等学校を対象としたものを実施する計画である。	令和７年度のMUKOJO ミライ☆ラボの活動は次のとおり。 ・西宮市、芦屋市の中学校で出前授業の実施 ・春のオープンキャンパスの実施（上甲子園キャンパス） ・地域イベント「武庫女スマイルフェス」に参加 ・連携先（提携校）の拡大については、16校（前回実績）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	武庫川女子大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和6年度	実施状況報告書留意事項	［留意事項］ 〇R7 年度収容定員充足率が0.26（環境共生学部環境共生学科）と著しく低くなっている。より効果的な改善策を新たに講じる等、収容定員の更なる充足に努めること	令和8年度の入学者数は39人（昨年度より8名増）。収容定員超過率は0.36に改善。 令和7年４月~10月までの高校訪問実績は、10月の現地調査で報告済。これに加え、同年12月にも近畿圏を中心に高校訪問を実施。分野別高校内ガイダンスは37校、模擬授業は13校で実施し認知度アップに努めた。 令和9年度からの共学化に伴い、募集対象が倍になるので男子生徒にも積極的なアプローチを行う。 既に令和8年3月22日に実施したオープンキャンパスの参加者数は40組。昨年の3月は11組だったので3.6倍増という結果だった。 令和9年度から共学校はもとより男子校にも高校訪問等を実施し、積極的アプローチをかける。

大学名	武庫川女子大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	環境共生学部環境共生学科（工学関係）

大区分	小区分	年度 / 改組状況 / 項目	単位	R5年度 選定	R6年度 選定・届出	R7年度 開設	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
事業計画に定める定員		入学定員	人			120	120															
		編入学定員	人																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	120	80															
		入学者数	人	-	-	31	39															
		女子学生数	人	-	-	31	39															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	120	80															
		入学者数(B)	人	-	-	31	39															
		女子学生数	人	-	-	31	39															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.26	0.49															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	120	200															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	31	72															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.26	0.36															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	3	4															
		授業科目の単位数	単位	-	-	8	14															

大学名	武庫川女子大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	430	430	580	540															
		入学者数	人	449	456	469	527															
		女子学生数	人	449	456	469	527															
		社会人学生数	人	3	3	3	5															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	430	430	580	540															
		入学者数(B)	人	449	456	469	527															
		女子学生数	人	449	456	469	527															
		社会人学生数	人	3	3	3	5															
		留学生数	人	0	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.06	0.81	0.98															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,670	1,700	1,880	2,020															
		編入学定員	人	20	20	20	20															
		在籍者数(D)	人	1,754	1,809	1,867	1,926															
		編入学者数	人	25	22	22	11															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	0.99	0.95															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	402	416	469																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	77	77	70	62															
		授業科目の単位数	単位	109	109	80	90															

大学名	武庫川女子大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	2380	2375	2525	2485															
		入学者数	人	2270	2364	2387	2422															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	2,380	2,375	2,525	2,485															
		入学者数(B)	人	2,270	2,364	2,387	2,422															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.95	1.00	0.95	0.97															
	収容定員等	収容定員(C)	人	9664	9864	10162	10355															
		編入学定員	人	130	145	130	60															
		在籍者数(D)	人	9245	9864	9635	9717															
		編入学者数	人	123	114	63	30															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.96	1.00	0.95	0.94															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定		開設											
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	137,628	139,734	152,166	146,488	170,960	176,762	150,676	200,493											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	145,172
本事業による助成金の額(F)	千円	819,655
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	165,663

特記事項

（１）本年度対象となる学部等の状況：R8年度　在籍学生数は、入学者（31名＋39名）に他学部からの所属変更者２名を加え、72名としている。